

5分で読める

ちょっと役に立つ

注意喚起情報

2010年1月号から12月号までの
注意喚起をまとめてみました。

平成25年12月

「静電気を防ぐ着こなし」

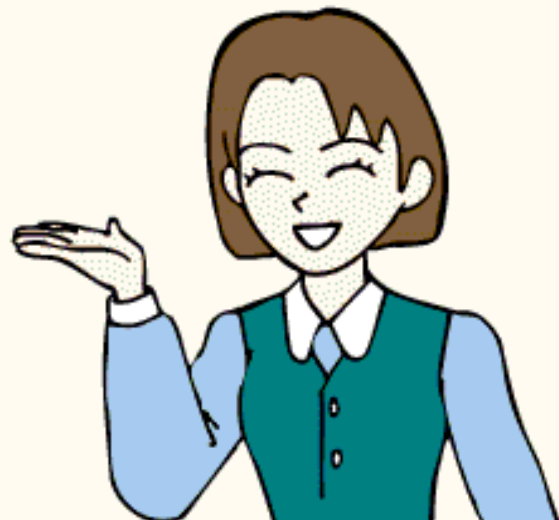
空気が乾燥した冬にドアに触れ「パチッ」と静電気が流れて思わず手を引っ込めたことはありませんか。あの一瞬に流れた電気はプラスそれともマイナスのどちらか知っていますか？

電気は、プラスが多いとマイナスを欲しがります。逆にマイナスが多いとプラスを欲しがる。いえそうではありません。マイナスを減らそうとします。なぜ、プラスを欲しがるのではなくマイナスを減らそうとするか。それは、電流として流れるのはマイナスだけなのです。プラスは流れません。

というわけで、ドアに触れた瞬間に「パチッ」と流れる電気はマイナスなのです。これが静電気現象です。衣服にはプラスの電気を多く持っている生地とマイナスの電気を多く持っている生地があります。静電気現象はプラスの多い生地とマイナスの多い生地を組み合わせることで起こりやすくなります。

たとえば、ウールのセーターの上に塩化ビニルのジャケット着たり、ウールのセーターにフリースの上着を着たりすると静電気が起こりやすくなります。重ね着する時は、マイナスはマイナス同士、プラスはプラス同士と隣り合った生地を着るのが静電気を防ぐコツになります。冬の静電気を防ぐ、着こなしの知恵です。

マイナスが多い	塩化ビニル
	アクリル
	ポリエステル
	麻
	木綿
	皮
	絹
プラスが多い	レーヨン
	ナイロン
	ウール・羊毛



「家庭内事故」

家庭内事故というと階段転落を思い浮かべるでしょうが、それ以外にも「え！ こんな事故もあるの」があります。

家庭内事故は子供と老人の事故が多いですが、特に子供の事故について注意喚起するために書き出してみました。

- ・ベビーカーを広げたときに幼児の指を挟んだ。
- ・自動ドアに指を挟んだ。
- ・子供が自宅でかくれんぼしていたところベランダの柵に足を挟んだ。
- ・子供がペットをくわえたまま転んだ。
- ・ソファーではねていて勢いでおちてテーブルに頭をぶつけた。
- ・取り替え中の蛍光灯の明かりが落ちて子供の頭に当たった。
- ・ボール・ペンをくわえて遊んでいた子供が口内にささった。
- ・ミキサーに手を入れた。
- ・クハーンの紐がはずれ乳児が落ちた。
- ・飲み込み事故……子供が水と間違えて料理酒を飲んでしまった／防虫剤を食べた／つりのおもりを飲んだ／たばこを飲み込んだ／洗濯用漂白剤を飲んだ／コンニャクゼリーがのどにつまった／もちがのどにつまった。
- ・接着剤を目に塗った、などなど。

おかあさんは子供から目を離せないけど。とはいっても24時間見張っているわけにいかないし……。

おかあさんは大変ですね。



「花火事故」



このマークを見たことありますか？

S Fマーク (Safety Fireworks の略称) です。

国内に流通する国産・輸入品のおもちゃ花火で、社団法人日本煙火協会が行う検査に合格したものに付けるマークです。

このマークが付いている花火自体の欠陥が原因で、消費者が損害を被った場合は賠償されることとなっています。ただし、本人の過失・不注意による場合は賠償されません。

多くの花火事故は「点火にマッチやライターを使ってはいけない。点火にはローソクまたは線香を用いること」などの注意書きがパッケージなどに記載されていますが、これを守らないために起こった事故が少なくないです。

花火は事故が起ころしても花火自体は燃えてしまうので欠陥を証明することは極めて難しい点がありますが、万が一事故にあった場合には事故を起こした花火は燃焼しても同型品が残っていた場合は賠償関係の証明に必要なかもしれませんから廃棄せずにとっておきましょう。花火事故で一番の重傷は失明です。

打上げ花火を点火したところ、逃げるまもなく爆発して左眼に当たり、左眼球が破裂して失明した。打上げ花火が目当たり失明した。

子供には打上げ花火を覗き込むなどは絶対にしてはいけないと徹底的に注意しておきましょう。



「漏電チェック」

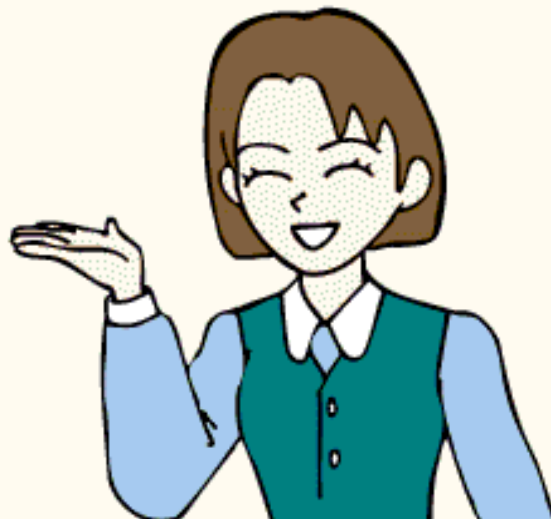
電子レンジやドライヤーのスイッチを入れた途端に分電盤のアンペアブレーカーが落ちてしまって、部屋中真っ暗停電状態になったことはありませんか？

家庭電気器具で消費電力量が多いのは、エアコン、冷蔵庫、照明器具、テレビの順です。それに消費電力量が多い電子レンジやドライヤーを使うと瞬間電力量が増えてアンペアブレーカーが落ちてしまいます。

電気は、ふつう電柱から引込線から分電盤を経て各部屋に送られています。分電盤は、集合住宅などでは玄関のドアの上に設置されています。アンペアブレーカーは分電盤の一機能で、その他に漏電遮断器、配線用遮断器で構成されています。

たびたびアンペアブレーカーのスイッチが下に落ちるなら、アンペアブレーカーの上に契約アンペア数が表示されています。もしかしたら電力量が契約アンペア数をこえている可能性があります。アンペアブレーカーは、電力会社に連絡すると希望のアンペア数に取り換えてくれます。ただし、契約アンペア数が上がると基本料金がアップします。集合住宅の場合は、所有者や管理人に了承してもらう必要があります。

場合によっては配線工事が必要になり契約者が費用を負担することになります。アンペア数を上げてもブレーカーが落ちるようだったら漏電かもしれません。漏電遮断器をチェックしましょう。



「漏電チェック」

アンペアブレーカーがたびたび落ちる原因は、設置アンペア数が低い以外に分電盤から各部屋に流れる電気量が多いか漏電がおきている場合です。各部屋に流れる電気量が契約アンペアより多いかと漏電をチェックするのが漏電遮断器です。漏電遮断器をチェックすることでどの部屋に電気量が多く流れているか、あるいは漏電しているのかを発見できます。その発見手順は以下の通りです。

①漏電遮断器が落ちてしまったらアンペアブレーカーが「入」なのかを確認します。

②配線用遮断器のつまみをすべて「切」にします。

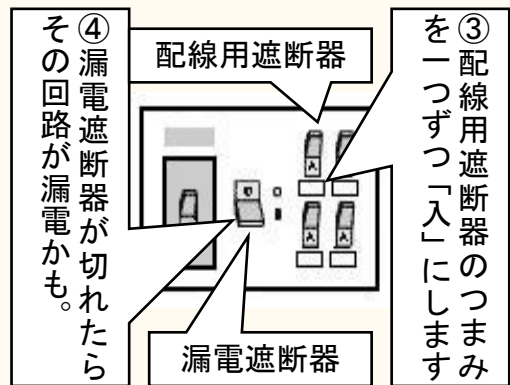
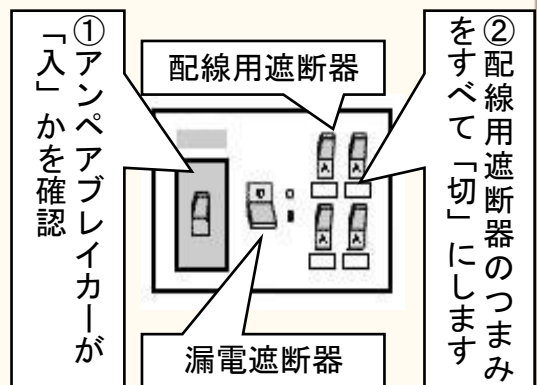
③漏電遮断器のつまみを「切」にしたあと、配線用遮断器のつまみを1つずつ「入」にします。

④問題のある回路の配線用遮断器を入れたときに漏電遮断器が切れたらその回路に漏電の可能性があります。

⑤すべての配線用遮断器を「切」にし、再び漏電遮断器のつまみを入れます。

⑥問題のある回路以外の配線用遮断器を1つずつ

「入」にします。これで問題のある回路がわかります。



「お酒による火傷」

アルコール飲料は急性アルコール中毒以外にも思わぬ事故があります。それは、飲酒中のアルコール引火による火傷です。

アルコールによる火傷は秋から冬にかけて多く発生しています。年齢別では20歳代が多くを占めています。お酒を飲みながら、ちょっとかっこよく見せたいからでしょうか？

例えば、テキーラを飲酒中に、体にテキーラが付着した状態で、タバコを吸おうと思いライターで火を点けたところ、突然炎が上がりやけどを負ってしまった。

ウイスキーの入ったグラスに火をつけて飲もうとグラスを傾けたところ、炎が大きくなり顔面にやけどを負ったなど。

アルコールによる火傷は、アルコール飲料が体に付着した状態で喫煙した時にライターなどの炎が引火し発生したり、お酒に直接火を点けたりしたケースが多いです。

●アルコールの事故を防ぐためには

アルコール飲料に起因するやけどは、アルコール飲料に火を点け、炎を觀賞している時、アルコール成分を飛ばして香りを楽しむ行為の時、アルコール飲料が体に付着した状態であるのに喫煙しようとライターなどで火を点けた時に発生しています。

ですから、アルコール飲料が手等に付着した場合は、すぐに拭き取るか洗い流すなどして、付着したままの状態では裸火には近づかないようにしましょう。



